

(記載例)

令和×年×月×日

盛岡市福祉事務所長 様

〇〇保育園
園長 〇〇 〇〇

入所児童にかかわる事故について（報告）
入所中の児童に下記のとおり事故が発生しましたので、その概要を報告します。

記

1. 事故名	転倒による前頭部（額中心部）の打撲と裂傷
2. 児童氏名等（フリガナ）	盛岡 太郎 （ モリオカ タロウ ）
3. 生年月日等	令和 4 年 8 月 5 日生まれ（ 3 歳児クラス ） 男 ・ 女
4. 発生日時	令和 8 年 8 月 3 日（ 月曜日 ） 午前 ・ 午後 10 時 15 分頃
5. 発生場所	・ 3 歳児保育室
6. 発生の状況	・ 保育室内で絵本を読んでいたが、ほかの遊びをしようと思い立ち上がったところ、足元に絵本が数冊あり、ふらつき転倒して近くにあった棚に顔をぶつけた。
7. 事故の程度	・ 前頭部（額）に腫れがあり出血していた。清浄綿で止血するとしばらくして出血はおさまった。
8. 事故への対応	・ 園長、看護師、担当保育士で出血箇所を確認し、保護者へ状況と受診する旨を連絡する。保護者の了承を得て受診し、前頭部の打撲及び裂傷と診断を受けた。受診時、出血はおさまっていたが、裂傷部を確認し消毒した。
9. 保護者への対応	・ 事故直後に保護者へ連絡し、事故が起こった状況と児童の状態、受診をする旨を伝えて謝罪した。また、受診の付添いを依頼し、了承を得る。
10. その他 （改善策等）	・ 園児が遊びを変えるときはどのような動きをするか、どのような危険があるかなどの行動予測を行ない、安全に十分に配慮する。
11. 園長所見	＜その原因を解明し、再発防止のための対策を講じる＞の観点から。 コーナーあそびの環境構成が適切であったか、保育士（2名）の位置と見守りについて考察する。絵本・ままごと・ブロックの3コーナー設定で、絵本や玩具が床に散らばり易かったこと、子どもの興味が移り易かったこと。保育士の立ち位置で死角ができたことが未然に防げなかったことに係る。又棚の角に丸みがなかったのでコーナーガードを取り付ける（園内各所点検する）。保育士の立ち位置や姿勢も検証し、子どもとの関わりと見守りの安全性を確保できるようにすることを職員間で情報共有する。本児の保護者にも再発防止改善策を報告し安心安全な保育に努める旨を伝える。